


第3回スマートものづくり応援ツール 応募フォーマット

ツール名称	IoTスターターキット 2	37
ツール紹介 (特徴・導入事例)	<p>IoTを導入する場合に、どこから始めてよいかわからない、どのセンサーを使えば何ができるかわからない、といったケースやできる限り安価に済ませたいケース、IoT導入には社内稟議が必要で始めづらい、そもそもIoTを導入したらどのように変わるのか、こういった効果があるのかが分からない、といったIoT事始めにおいて悩ましい課題のためになかなか始められない、場合に簡単にIoTを始められるキットを提供しています。</p> <p>■特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoTを始めるために必要なセット一式が揃ってたったの18万円（税別） ・自分でセンサーを入れ替えて計測して見たり、自分で設置してみたり、することができるセルフIoT ・センサー7種類とI/Oがセットになって、自由に入れ替えが可能（I/OはIoTゲートウェイ専用） ・計測データは三菱電機が提供するSeiryo Business Platformに自動的に蓄積 ・蓄積データはIoTダッシュボードで図表で閲覧したり、CSV形式ファイルを取得したり可能 ・お試し利用しやすいパッケージだが本番運用としても利用できる ・後付けIoTだから既存設備にも影響を当たらずに計測できる <p>■基本構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoTゲートウェイ本体 ・センサーブロック本体（ACアダプタ付き） ・センサーユニット7種類（温湿度、照度、電流、振動、距離、加速度、CO2） ・拡張HUB ・I/Oユニット ・1年間のサービス利用付き（IoTダッシュボードで計測データを閲覧、CSVダウンロード取得） ・#2年目以降の利用はサービス料のみ更新が必要です。 <p>■導入事例</p> <p>総合金型メーカーの（株）ゼノー・テックが西大寺工場内の円筒研削盤の稼働状態の把握に導入されています。円筒研削盤に「反射センサー」「距離センサー」「電流センサー」を設置し、計測データの組合せで「稼働（作業中）」「段取（作業段取り中）」「非稼働（電源オンで作業なし）」を分類してデータをクラウド上に蓄積し、ウェブブラウザ上での状態確認やCSV形式でのデータ取得（取り出し）が可能になっています。</p> <p>この円筒研削盤は汎用機（手作業による加工）のため稼働時間や稼働率の把握は作業員の報告（紙）からデータ化して集計していましたが、IoT導入によって以下が実現しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業時間が加工時間と準備時間で区別できた（従来は作業準備時間も稼働時間でカウント） ・データ化が必要なし（CSV形式でファイル取得できる） ・専門業者なしで取付が可能 	
ツールWeb	https://marketplace.seiryoelectric.com/products/detail/67	
ツール分類	カテゴリ	価格レンジ
	IoTパッケージ・システム	10万～50万円未満
ツール図・写真		
	提供者名	
	三菱電機株式会社	
	提供者Web	
	http://www.seiryodenki.co.jp/	
問合せ先		
ツール提供者情報	電話	03-5777-3977
	E-mail	info@cs.seiryodenki.co.jp